令和6年(2024年)度年間授業計画表					
学年	3年	学科	全学科	必選	選択
教科	数学	科目	数学A	単位	2単位
使用教材	教科書:高校数学A(実教出版) 副教材:ステップノート数学A新課程版(実教出版)				
学習目標	<p>①図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>②図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。</p> <p>③数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>				
単元と内容					
1学期	1章 場合の数と確率				
	1節 場合の数 (課題テスト)		集合、場合の数、順列、組合せ		
	2節 確率 (期末テスト)		いろいろな確率、期待値		
	2章 図形の性質				
2学期	1節 三角形の性質		三角形の角、線分の比、五心		
	2節 円の性質 (中間テスト)		円周角、四角形、接線、方べきの定理		
	3節 作図		いろいろな作図		
	4節 空間図形 (期末テスト)		直線と平面、多面体		
	3章 数学と人間の活動				
3学期	1節 数と人間		数の歴史、2進数、整数の性質		
	2節 図形と人間		面積、高さ、図形パズル、座標		
	自主トレーニング (学年末テスト)				
評価					
評価の観点		評価の趣旨			
I	知識・技能	<p>○図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。</p> <p>○数学と人間の活動の関係について認識を深めている。</p> <p>○事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。</p>			
II	思考・判断・表現	<p>○図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を身に付けている。</p>			
III	主体的に学習に取り組む態度	<p>○数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。</p> <p>○問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</p>			
評価方法	観点 I		観点 II		年間時数
	授業の取組(ノート、プリント) 小テスト、定期テスト(計算)		授業の取組(発表) 定期テスト(記述)		授業の取組(発言・態度)
					課題の取組(創意工夫)
					年間時数
				70時間 実施	
置賜農高 育てる能力		忍耐力 主体性 他者理解 協調性 誠実 生きる力 知識技能 社会貢献			